

2006年2月28日

MSCC東京ラリー2006Media Information Book メディア用配布資料

コース担当副競技長 後藤茂行による、今回のコースに対してのコメント

#### 1)コース全体的特徴

全体的に中高速コーナーが多いレイアウトです。榎倉町を中心に LEG1、2 を東西に分け、参加選手に気持ちよく走っていただけるようコンパクトにまとめました。

#### 2)各スペシャルステージのコース的特徴(路面状況、高低差など)

##### SS1/5 MyougaMinekoshi 茗荷-峰越 (全長 14.18km)

今回のラリーで最長のSSです。路面状態は全体的に砂利の引き締まった路面ですが、前半部分は「土」の路面が多く、天候しだいによってはマッドな一面をのぞかせるでしょう。またこの前半部分は非常に低速コーナーが多いのも特徴です。スタート後 3.68km で本線に合流。ここからはストレートも多くなってきて中高速コーナーも多くなってきます。途中、舗装とダートの切り替えがありますが、舗装の部分は短いため、それほど影響はないかと思えます。コース幅は前半半ナロー、本線 1~1.5 車線。高低差は、スタートから本線合流までが上っては下り、本線合流後はフィニッシュまで、ほぼ上りです。

##### SS2/6 Ohmori 大森 (全長 4.66km)

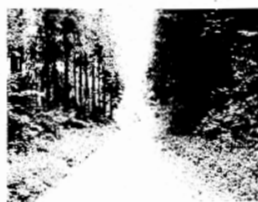
路面状態は全体的に浮き砂利路面です。コース幅は、ほぼ 1 車線強。スタートしてしばらくは川沿いを緩やかに駆け上がる中高速コーナーとストレートが主体なので、ドライバーは気持ちよく走れることと思います。後半は中低速コーナーが多く、路面状態もやや「土」の部分が多くなってきます。高低差はスタート後緩やかに上り、頂上を過ぎてからは下るといふレイアウトです。

##### SS3/7 HatajyukuKanayama 旗宿金山 (全長 10.62km)

今回のラリーで SS1/5 MyougaMinekoshi に次ぐ 10km を越える長さの SS です。路面状態は全体的に浮き砂利の路面ですが、所々に「土」の路面が多く、天候しだいによってはマッドな一面をのぞかせるでしょう。前半は低速コーナーが多いですが、中盤からは適度なストレートを含む中高速コーナーが多くなってきます。スタート後約 6km 地点には右手に犬神湖が望めます。その後、白河関方面に向けて走行。約 4.5km でフィニッシュとなります。コース幅はほぼ全線でナロー。高低差は、スタートから犬神湖までがほぼ上り、その後は少し上ってフィニッシュまでは下りとなります。



スタート



フィニッシュ

##### SS4/8 Renaissance ルネサンス (全長 0.50km)

距離は非常に短いですが、スペクティターステージとして設定。サービスパークから徒歩にて観戦場所まで移動でき、SS走行中でも観客の出入りが出来るのが魅力。

コースは、スタート後かなりナローだが、観客の目の前は道幅も充分あり、ストレートと中高速コーナーが程よくミックスし見ごたえのあるステージとなっている。フィニッシュは舗装に入るタイトコーナーの出口にあり、ギャラリーからもフィニッシュが見える。



##### SS9/12 MuroOodairagusa 室一大平草 (全長 5.01km)

杉の林の中を疾走するステージです。全体的に中高速コーナーが多く、ストレートも数多く出てきます。路面自体は砂利路面ですが、林の中は「土」の部分が多く、天候によってはマッドな路面となるでしょう。また、道幅は 1.5 車線ぐらいあるのですが、両側を杉の木が立ち並んでいることと、天候が良くても林の中で薄暗いため多少狭く感じます。スタートからほぼ上りのレイアウトですが、今年追加された終盤部分は緩やかな下りが 1 キロほど続きます。

##### SS10/13 Mikabubokuya 三株牧野 (全長 2.76km)

今年は、ギャラリーステージとして設定。舗装からスタートし、すぐグラベルに変わる。約 1km は道幅も 1.5~2 車線と広く、中高速コーナーが主体です。

ここは非常にロケーションが良く牧場の中の丘の上を走るイメージです。また、途中に「流鏝馬(やぶさめ)」を行うまっすぐな馬道の側道を競技車が走ります。後半 1km はコース幅もナローで低速コーナーが多くなってきます。高低差は上り下りを繰り返し、最後は下りでフィニッシュです。

昨年とはスタート地点が変更され 300m ほど距離が伸びている。

##### SS11/14 Higashinobokuya 東野牧野 (全長 2.4km)

毎年ギャラリーステージとなるコースです。

道幅はほぼ 1.5 車線。路面状態は浮き砂利で、中速コーナーが多く、スタートから緩やかに下っていく全体的にハイスピードなコースレイアウトです。観戦場所はハイスピードでコーナーを立ち上がり、ストレートと高速コーナーが入り混じったところを過ぎタイトコーナーに消えていくまでが見られギャラリーにも楽しんでいただけるステージだと思います。